

全学交換留学説明会2020 Q & A集

- ・説明会当日に出た質問及び事前登録時にいただいた質問のうち説明中に回答しなかった質問に対して回答します。
- ・以下の回答はすべて2020年9月時点での、全学交換留学2021-2022年期秋募集の情報です。次回以降の募集に応募される方は、必ずその回の募集要項等を確認してください。
- ・スライド末尾のリンク集も参考にしてください（募集要項、FAQ、留学体験記等）。

質問	回答
新型コロナウイルス	
2021-2022年期秋募集に応募した後で、新型コロナウイルスの影響を鑑みて、2021年の夏に個人的な判断で留学を断念することは可能なのか。	原則辞退はできないとしていますが、コロナ禍で特殊な状況なので、新型コロナウイルスの影響による辞退は可能です。ただし、出来るだけ辞退がないように慎重に応募・判断してください。
留学先の大学がオンライン授業しか行わなかった場合、それを理由に留学を辞退することはできますか？	原則辞退はできないとしていますが、コロナ禍で特殊な状況なので、新型コロナウイルスの影響による辞退は可能です。ただし、出来るだけ辞退がないように慎重に応募・判断してください。
先ほど、オンライン授業になった場合自分から留学を取り消しても許されるとの事でしたが、それが来季申し込む場合に採用に悪い方向に響くことはありますか？	やむを得ない事情で辞退された方を次回以降の選考で不利に評価するということはありません。
外務省の危険情報がレベル2未満とありますが、これは感染症以外の原因でも同じ取り扱いでしょうか（例えば、戦争や内戦など）	はい。なお、危険情報がレベル1でも、仮に大学として派遣不可と判断した場合、派遣は行いません。危険情報・感染症情報レベル2未満は、最低限の条件であることに注意してください。
新型コロナウイルスの影響で今年度の留学が叶わなかった人や短期で終えることになってしまった人も、2021年度の留学に応募することになると思います。そう考えると例年よりもかなり倍率が高くなると思うのですが、そのための対策などはありますか？(派遣人員の増員の検討など)	一部の協定校の派遣枠は増枠しています。協定校によって状況が異なるため、一律に増枠できないことをご理解ください。
次年度の募集がもし中止になった場合も考えて応募したいので、今年度の中止になった応募でどのような代替策が採られたのか、若しくはそういった措置は無いのかを聞きたいです。	2020-2021年期中に留学予定だった派遣候補学生に対しては、同じ年期中において留学期間の短縮及び留学期間の後ろ倒しを認めました（当初2020年秋から2セメスター留学予定→2021年春1セメスターのみの留学に変更許可／当初2020年秋から1セメスター留学予定→2021年春から1セメスター留学に変更許可）。
コロナの影響で留学が叶わなかった場合、翌年に持ち越すことはできますか？	現時点では、学内選考で獲得した内定を次の年期以降に持ち越すことは認めていません（例：2021-2022年期秋募集で内定した留学を2022-2023年期に持ち越す）。再度の応募が必要です。交換留学の派遣・受入枠は、派遣・受入の交流状況に鑑みたくて協定校間で毎年募集前に取り決めており、協定校の派遣枠の確保や増枠を早い段階で約束できません。毎年度応募する学生に対し、機会を公平に提供するという観点もあります。

質問	回答
<p>パンデミックが留学先において再燃した際の対応について3点伺いたいです。</p> <p>①緊急帰国に係る準備費用などは全て自己負担でしょうか。</p> <p>②単位交換が可能な留学において、途中帰国した際はやはりその直前までしか互換されず休学等影響が出るのではないかと思うのですが、どこに相談すれば良いのでしょうか。</p> <p>③帰国しない場合でも、例えば対面授業が中止され、オンライン受講などの形で留学先での学習を続けた場合、単位取得と互換は認められるのでしょうか。</p>	<p>①はい、その予定です。②③単位認定については留学時に所属する学部・研究科に相談してください。ただし、学部・研究科の担当者も現時点では答えられない可能性があります。</p>
<p>「新型コロナウイルスの影響」というスライドについて。2020年秋派遣は一律で中止でしたが、2021年春派遣以降の留学は協定校によって派遣されたり中止だったりという差が生じるということでしょうか。</p>	<p>現時点では回答できません。</p>
<p>秋からの派遣の場合、留学が中止か否かは春ごろに決まると思うのですが、秋時点の状況を予測してではなく、春時点での外務省の安全情報などをもとに中止を判断するという理解でよろしいでしょうか？</p>	<p>現時点では回答できません。</p>
<p>留学先がオンライン授業のみ実施する場合でも渡航は原則として認められるのでしょうか。またグローバルキャンパス推進本部の奨学金はその際支給対象になりますか。</p>	<p>現時点では回答できません。</p>
<p>東京大学（グローバルキャンパス推進本部）の短期留学プログラムに参加することも検討しているのですが、来年(2021年)の春休み期間のウインタープログラムは実施されるのでしょうか？また、短期留学プログラムの説明会の実施予定はありますか？もし実施予定があるようでしたら、参加したいため、日時を教えてくださいたいです。</p>	<p>ウインタープログラムの実施可否については検討中で、10月頃にはお知らせします。実施する場合、説明会は10月に行います。</p>
<p>語学要件</p>	
<p>後追い提出可能というのは、現在保有しているTOEFLの点数が志望する協定校の語学要件を満たしていなくても応募可能ということですか？</p>	<p>はい。募集要項にあるとおり、検定試験の中止等新型コロナウイルスの影響より、語学要件を保有できなかった場合は可能です。ただし、次の記載をよく確認してください。「学内選考において、協定校が要求する語学要件を満たす有効な証明書を提出した応募者を、そうでない応募者より優先して選考する場合があります。よって、出来るだけ語学試験を受験するよう努めること。」「遅くとも協定校への応募締切日までは、協定校が要求する語学要件を取得し、証明書を所属する学部・研究科の担当部署を通じて本部国際交流課に提出すること。協定校への応募締切日までに協定校が要求する語学要件を満たせなかった場合、派遣候補学生の内定を取り消す。」</p>

質問	回答
<p>先ほど語学要件に関する特別措置についてですが、募集要項では学内選考の締め切り日の時点で協定校の語学要件を満たし、とあったのですが、先ほどの言い方で学内選考の締め切り日時点では要件をクリアできていなくても応募可能という意味でしょうか？</p>	<p>はい。募集要項にあるとおり、検定試験の中止等新型コロナウイルスの影響より、語学要件を保有できなかった場合は可能です。ただし、次の記載をよく確認してください。「学内選考において、協定校が要求する語学要件を満たす有効な証明書を提出した応募者を、そうでない応募者より優先して選考する場合があります。よって、出来るだけ語学試験を受験するよう努めること。」「遅くとも協定校への応募締切日までは、協定校が要求する語学要件を取得し、証明書を所属する学部・研究科の担当部署を通じて本部国際交流課に提出すること。協定校への応募締切日までに協定校が要求する語学要件を満たせなかった場合、派遣候補学生の内定を取り消す。」</p>
<p>①IELTSのスコアのうち4技能それぞれに制限がある場合、一度の試験で全てクリアする必要はありますか？それとも、life-time best scoreのような形で複数回の試験にわたり個別にクリアすれば大丈夫なのでしょうか。 ②新型コロナウイルスの影響で派遣中に帰国が命じられた場合、本来は留学期間中である次のタームから東大の授業を履修し単位を取得することは可能でしょうか。</p>	<p>①基本的に、一度の試験で全てクリアする必要があると考えてください。ただし、募集要項にあるとおり、TOEFLのMyBestスコアは協定校が使用の認可を明記している場合のみ使用を認めます（IELTSに同じような制度があるかは不明です）。 ②留学時に所属する学部・研究科に相談してください。</p>
<p>英語以外の語学要件がある場合は英語の検定試験（TOEFL, IELTS）のみならずフランス語やドイツ語などの語学試験も併せて受ける必要があるということなのでしょうか、それとも、どちらか片方だけで大丈夫ということなのでしょうか。</p>	<p>留学先での学習・研究で使用する言語の語学能力証明書のみが必要です。例えば、ドイツ語で行われる授業のみを履修予定の場合、ドイツ語の証明書のみ提出で構いません。ただし、ドイツ語で行われる授業と英語で行われる授業の両方を履修予定の場合、ドイツ語と英語の両方の証明書を提出してください。</p>
<p>TOEFL等の英語能力試験を東大の支援のもと無料で受けられる制度の募集は、今年度はもうないという認識でよろしいでしょうか</p>	<p>Go Global Gatewayの英語能力試験奨励制度のことかと思えます。今年度はすでに定員に達しましたので受付を締め切りました：https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-gateway/ja/2020subsidy.html</p>
<p>留学する前の語学力は、ある程度の資格を取得していることは前提として、日常会話においてはどの程度のものが必要でしょうか。日常会話ができなくても留学して学ぶことは可能でしょうか。</p>	<p>「ある程度の資格を取得」していれば「日常会話が全くできない」ということはないと思います。日常会話に自信がなくても留学して学ぶことは可能だと思いますので、あまり恐れすぎずに挑戦してほしいと思います。留学中に、現地学生との交流や、語学学習にも取り組むなどして、日常会話に重点を置いた語学力を高めることもできると思いますし、実際にそのようにしている方はたくさんいらっしゃいます。</p>
<p>志はあるのですが、語学力が不十分で不安です。今英語を勉強しているのですが、英検一級は応募要件になくても勉強する価値はありますか？</p>	<p>本部国際交流課では回答できませんので、ご自身でお考えください。</p>
<p>応募</p>	
<p>申し込みの締め切りは「申込時の所属学部の締め切りに従う」とありました。私は現在2年で後期より理学部に進学することになりますが、その場合でも所属は前期教養となる、したがって締め切りも前期教養の締め切りに従うという理解でよいでしょうか。</p>	<p>はい。なお、前期教養学部の申し込み締め切りよりも前に、進学予定の理学部から注意事項の説明を受ける必要があるため、注意してください。</p>

質問	回答
現在前期教養課程2年生です。 学部4年生で卒業に必要な取得単位を東京大学で獲得しつつ、自主的に留年して4年生をもう一度行い、その年に全学交換留学に申請することは可能でしょうか。	留学時に所属予定の学部によく確認してください（例えば卒業に必須な単位を全て取得していても留年できるかなど）。
例えば1年間留学に行ったとすると、帰ってきたときは今まで1つ下の学年だった人たちと同じ学年になるということですか。それとも留学していても学年は上がるのですか。	留年することになるか、進級できるのか、というご質問かと思えます。所属学部・研究科によって異なるので、事前に留学時に所属予定の学部・研究科の担当者によく確認してください。
来年修士課程1年生になる者です。学位留学の出願と交換留学の応募を並行して行っても構わないですか。	他プログラムとの併願は可としていますが、全学交換留学の辞退は原則不可ですので、応募後に辞退はしないでください。辞退を原則不可としているのは、他学生の派遣枠を奪うことになること、協定校との関係に悪影響が及ぶ可能性がある、等の理由によるものです。
交換留学に応募したのち、海外院への合格状況により参加を取り下げることは可能でしょうか。時期としてはいつ頃までに最終的に留学に行くか決定すればよいでしょうか	他プログラムとの併願は可としていますが、全学交換留学の辞退は原則不可ですので、応募後に辞退はしないでください。やむを得ず辞退する場合は、選考結果通知の前でも至急ご連絡ください。
確認中となっている大学で受け入れ人数がわかった時にはどのように通知されるのでしょうか	Go Global ウェブサイトの募集要項のページで「協定校一覧」のリストが最新版に更新されます。
協定校のFactsheetに載っているGPA requirementの数値の計算方法は、UTASの海外派遣の成績評価係数の数値の計算方法と同じなんでしょうか？ 協定校によって違うのでしょうか	UTASの成績評価係数はあくまで学内選考用のものです。協定校の評価方法は、協定校によって異なります。
交換留学は1回あたり最長でどのくらいの期間行けますか？ 複数回行くことは可能ですか？	全学交換留学の場合、1回あたりの最長留学期間は2セメスターです。1セメスターずつ別の応募で別の時期に行くことも可能です。ただし、在学中の留学は学部課程・大学院課程でそれぞれおおむね1年が限度です。
留学期間は自分の計画に照らし合わせた上決定し、申請することが出来るのでしょうか	留学期間はセメスター単位なので、自分で月数や日数を自由に決められるわけではありません。
先ほど、応募資格について、休学中であっても応募できると聞き取りましたが、大学院生で休学で応募できるプログラムを紹介していただけませんか。特にドイツの大学について知りたいのです。ありがとうございます。	Go Global ウェブサイトの留学プログラムのページを参考にしてください： https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-index.html
1度選考に落ちてしまった場合、翌年の募集にまた応募することは可能でしょうか？	はい、応募できます。
①全学交換留学派遣候補学生 所見事項においてどのような先生にお願いするのが一般的なのでしょうか。 ②留学先がフランス語圏を予定している場合、フランス語の先生に見てもらおうのが良いと思うのですが、その場合所見事項をフランス語訳して提示する形になるのですがそれでもよろしいのでしょうか。	①募集要項にあるとおり、指導教員、または現在所属する学部・研究科の担任教員や、授業担当教員など、申請者の人物像を把握している本学の教員に所見事項の作成を依頼してください。 ②日本語を解さない評価者に依頼する場合は、英語で記入してもらってください。所見事項の英語版はこちらです： https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/en/application-tips-USTEP.html なお、協定校によっては、協定校への申請時に所見事項とは別の推薦書が必要になりますが、その場合は協定校の指定している言語（英語かその国の言語）で作成されたものを手配してください。

質問	回答
現在学部四年生であり、大学院の結果が申し込み時に未定である可能性があるのですが、その場合何か問題や取るべき対処がありますでしょうか。	応募に問題はありません。ただし、当初の進学計画が変わった場合、留学計画にも影響が出ますので、本部国際交流課及び所属学部すぐに連絡してください。
現在修士課程1年です。選考基準に研究実績等は含まれますか？	総合的に判断しますので、アピールしたいことがあれば申請書に記載してください。
大学院生（修士）での交換留学では講義のほか、研究に携わることもできるのでしょうか？	協定校によります。各協定校のFactsheetやウェブサイト等を確認してください。
大学院生が学部の留学プログラムに参加することは可能なのでしょうか。	できる場合もありますが、協定校によります。協定校の情報を確認してください。
奨学金	
グローバルキャンパス推進本部からの奨学金は、他の奨学金の応募と併用することは可能でしょうか？	条件によっては併給可です（条件は派遣候補学生に内定した方に直接通知します）。他の奨学金の側が併給可かどうかよく確認してください。
奨学金はutasのものと大学公募のもの両方申し込んでいいのですか？また大学公募のものは留学の内定を貰えていない状態で申し込んでいいのですか？	はい、両方申し込んで構いません。大学公募のものは留学の内定を貰えていない状態で申し込んで構いません。なお、グローバルキャンパス推進本部の奨学金は支給可否が決まるのが遅いので、グローバルキャンパス推進本部の奨学金の支給可否が判明した時点で他団体の奨学金に申し込もうとしても、他団体の奨学金の多くは応募締切が過ぎていると思われるます。
・留学に行く学生のうち、奨学金を利用できる学生の割合はどの程度ですか ・学内選考の倍率はどのくらいですか	現時点では、ほとんどの学生が外部の奨学金やグローバルキャンパス推進本部の奨学金を受給しています。学内選考の倍率はGo Global ウェブサイトに掲載している応募状況を参考にしてください： https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-USTEP.html
その他	
一年間ほどの長期の留学をする場合、どのタイミングで留学するのが良いのでしょうか？	個々人の状況によると思います。本学で最も多いのは学部3-4年時に1年間留学するパターンですが、そうでないケースも多数あります。
全学交換留学以外、短期間の留学制度があるのでしょうか。	Go Global ウェブサイトの留学プログラムのページを参考にしてください： https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-index.html
①フランス社会科学高等研究院に留学すると、CROUS（大学生協）の学生寮に優先的に入れてもらえるのでしょうか？かつての留学生はCROUS（大学生協）の学生寮に住んでいるのでしょうか？②本年度から学振が奨学金の受給を許可するようになりましたが、東京大学短期留学等奨学金との併給が可能になったりすることはありますでしょうか？	①協定校のFactsheetやウェブサイト、EHESIに留学していた学生の留学体験記を参考にしてください。②東京大学海外派遣奨学事業短期（3ヶ月以上1年以内）海外留学等奨学金は、全学交換留学は支援対象外です。
全学交換留学でホームステイはできますか。	協定校が居住先としてホームステイを紹介しているケースはあまりない印象ですが、東京大学として居住形式を指定しているわけではないですので、ご自分で探せばホームステイもできると思います。
留学された先輩方はどの学年、学部であったのかと就活はどうされたのか聞きたいです。	Go Global ウェブサイトの留学体験記が詳しいので参照してください。
留学場所(国、国の中の場所)を決定するに当たって、その土地柄、校風、どの専門が強いのかを知るにはどうしたらいいのでしょうか。	協定校のウェブサイト閲覧、実際に留学していた人から話を聞く、教員に相談する、大学ランキング（分野別もあり）を参考に等、色々な方法があると思います。

質問	回答
海外大で学位を取得するためにはどのような制度を利用すればよいですか？	Go Global ガイドブック2020 p. 47を参考にしてください。 また、留学生・留学情報サポートデスクにも相談することができます： https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-icenter.html